

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	72100	道路橋りょう管理事業費	会計	1 一般会計	基本分野	5 基盤・安全	根拠計画		市長公約
			款	7 土木費	個別分野	2 道路	実施計画事業	道路橋りょう管理事業	
担当課		基盤整備部 維持課	項	2 道路橋りょう費	施策の概要	3 将来の負担を軽減する老朽化対策の推進	H29実施計画額	68,500 千円	
		内線 2322	目	1 道路橋りょう総務費					

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか(意図)	・道路・橋りょう施設等を良好な状態で利用できるよう維持されている。	概要	事業の実施手法(手段)	・トンネル、融雪装置の光熱費の支払いや保守点検、修繕の実施により適切に管理する。
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>融雪装置、JRアンダーパスなどの光熱水費の支払い</li> <li>融雪装置等保守点検</li> <li>トンネル等防災設備保守点検</li> </ul>									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
					目標値					
					実績値		-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-
					目標値					
					実績値		-	-	-	-
	算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-	
	成果指標				目標値					
					実績値		-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-
					目標値					
					実績値		-	-	-	-
算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-		

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の保守点検により正常稼働に努める。</li> <li>維持管理経費の高額なものについては、経費削減方法を検討する。</li> <li>更新時期に、維持管理コストに配慮した施設選定を行う。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・道路利用者の安全性が担保される範囲内で融雪装置の稼働温度やセンサーの設定変更について研究し、コスト削減方法を検討する。	
次年度の担当課の考え方	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	
	<input type="radio"/> 拡大	・市民が安全に利用できるように道路施設の維持管理を継続して適正に実施する。
	<input type="radio"/> 縮小	
	<input type="radio"/> 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A) 68,415	55,211	69,905	84,919	
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 747	607	777	943	
	受益者	道路交通網の利用者 (B)	91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>除雪機械他維持管理車両の車検・修繕及び、タイヤ・チェーン等の更新</li> <li>融雪装置用燃料費</li> <li>融雪装置用電気料</li> <li>機械器具保守点検委託</li> </ul>	要求のポイント	・除雪機械等の老朽化し消耗している装備品などの更新	事業実施の課題	・維持作業を行うための車両や除雪機械の経年劣化が著しく、除雪機を維持するために多額の修繕費が必要である。
------	--	---------	---------------------------	---------	--

事業費(人件費除)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	69,905	84,919	15,014	70,505	71,105	積算内容を精査	現場対応備品購入に要する経費を増額
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	69,905	78,697	8,792	69,473	69,473		
一般財源		6,222	6,222	1,032	1,632		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	72110	急傾斜地崩壊対策事業費	会計	1	一般会計	基本分野	5	基盤・安全	根拠計画	急傾斜地崩壊対策事業整備計画	市長公約
			款	7	土木費	個別分野	7	防災	実施計画事業	急傾斜地崩壊対策事業	
担当課		基盤整備部 維持課	項	2	道路橋りょう費	施策の概要	3	自然災害防止施設の充実	H29実施計画額	15,000 千円	
		内線	目	1	道路橋りょう総務費						
		2326									

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	急傾斜地崩壊危険箇所に居住する市民	どうしたいのか(意図)	急傾斜地崩壊対策施設の整備を行い、崩土による被災から市民の生命・財産を守る。	概要	事業の実施手法(手段)	重力式擁壁・もたれ擁壁・法面工・落石防護柵等を設置する。
	対象者数	158 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		・下ミセノ地区 急傾斜地崩壊対策工 L=24.7m 吹付砕工(300×300)L=182m、A=120㎡ ・無数河地区 測量設計業務 1式							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
				目標値					
				実績値		-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)		-	-	-	-
				目標値					
				実績値		-	-	-	-
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)		-	-	-	-
				目標値					
				実績値		-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)		-	-	-	-
		急傾斜地崩壊対策施設整備延長	m	目標値	150	70	45	45	20
				実績値	25	-	-	-	-
		算出根拠等	達成率(%)	17	-	-	-	-	
		目標値							
		実績値		-	-	-	-		
		算出根拠等	達成率(%)		-	-	-	-	
		目標値							
		実績値		-	-	-	-		
		算出根拠等	達成率(%)		-	-	-	-	

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	対策工が必要な箇所は多く、早期に事業を進め効果を発揮させる必要があるため、県に対し今後も継続して事業費拡大を要望していく必要がある。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	急傾斜地崩壊対策事業整備計画に基づいた事業の進捗が図られるよう、県に対し毎年予算確保を要望している。	
課の考え 次年度の担当	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	
	<input type="radio"/> 拡大	急傾斜地崩壊対策整備計画に基づき整備を進める。
	<input type="radio"/> 縮小	
	<input type="radio"/> 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	14,477	22,047	48,000	48,000	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	689,381	139,538	303,797	303,797	
	受益者	急傾斜地崩壊危険箇所に居住する市民	(B)	21	158	158	158

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	急傾斜地崩壊対策工事(下ミセノ地区、久々野無数河地区)	要求のポイント	事業実施の課題	県補助金の継続した予算確保
------	-----------------------------	---------	---------	---------------

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	48,000	48,000	0	45,000	45,000	積算内容を精査	財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	32,000	32,000	0	30,000	30,000		
	その他			0				
	一般財源	16,000	16,000	0	15,000	15,000		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	72120	道路台帳管理事業費	会計	1 一般会計	基本分野	5 基盤・安全	根拠計画		市長公約
			款	7 土木費	個別分野	2 道路	実施計画事業	道路台帳管理事業	
担当課		基盤整備部 維持課	項	2 道路橋りょう費	施策の概要	4 生活に身近な道路の環境の向上	H29実施計画額	66,000 千円	
		内線	目	1 道路橋りょう総務費					
		2322							

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか(意図)	・道路法に基づき、道路台帳を整備することで適切に道路が維持管理されている。 ・未登記路線を整理し、市道の適正な管理を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	・道路整備完了箇所や占有物変更箇所を台帳に反映して、正確な道路台帳を整備し活用する。 ・市道未登記箇所の測量を行い、所有者からの寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績		・道路台帳の更新 ・未登記路線の調査、分筆測量等								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		道路台帳更新路線数		本	目標値	170	170	170	170	170
		算出根拠等			実績値	124	-	-	-	-
					達成率(%)	73	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
		算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・未登記路線が早期に解決できるよう、引き続き積極的に取り組んでいく必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・道路を維持管理するためには必要であり、道路法で設置が定められていることから継続して実施している。 ・未登記路線が早期に解決できるよう、引き続き積極的に取り組んでいる。	
課の考えの担当	○ 維持・改善	
	拡大	・道路を維持管理するためには必要であり、道路法で設置が定められていることから継続して実施する。 ・未登記路線が早期に解決できるよう、引き続き積極的に取り組んでいく。
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	76,821	62,478	66,000	80,400	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	839	687	733	893	
	受益者	道路交通網の利用者	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	・本庁及び各支所管内の道路台帳の補正 ・市道未登記用地の調査、測量、登記	要求のポイント	事業実施の課題	・道路網整備により国・県からの道路管理移管があり、市道延長が増大している。 ・未登記処理において地権者の権利関係等が複雑となり、処理に時間を要する。
------	---	---------	---------	---

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		66,000	80,400	14,400	66,000	66,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	40	40	0	40	40		
	一般財源	65,960	80,360	14,400	65,960	65,960		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	72200	道路橋りょう維持修繕事業費	会計	1	一般会計	基本分野	5	基盤・安全	根拠計画		市長公約
			款	7	土木費	個別分野	2	道路	実施計画事業	道路橋りょう維持修繕事業	
担当課		基盤整備部 維持課	項	2	道路橋りょう費	施策の概要	4	生活に身近な道路の環境の向上	H29実施計画額	463,000 千円	
		内線	目	2	道路橋りょう維持費						
		2326									

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民及び市道通過車両	どうしたいのか(意図)	・道路の走行性及び安全性の維持・向上を図り、安心して快適な道路網を確立する。	概要	事業の実施手法(手段)	・側溝、舗装、橋りょう等の道路施設の維持修繕を実施する。
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績	・道路修繕、側溝修繕、舗装修繕、橋梁修繕等 工事契約件数 N=401件										
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
		道路修繕工事の契約件数		件	目標値						
		算出根拠等			実績値	134	-	-	-	-	-
					達成率(%)						
		側溝修繕工事の契約件数		件	目標値						
		算出根拠等			実績値	148	-	-	-	-	-
	成果指標	舗装修繕工事の契約件数		件	目標値						
		算出根拠等			実績値	105	-	-	-	-	
					達成率(%)						
		橋りょう修繕工事の契約件数		件	目標値						
		算出根拠等			実績値	13	-	-	-	-	
					達成率(%)						

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・地域要望やハトールで発見する対処療法的な修繕に加え、効率的な維持修繕を行うことで長期的コスト削減を図るため、予防保全的な修繕を計画的に進めていく必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・協働のまちづくりの枠組みの中で、地域の選択により緊急性の高いものから迅速に対応していく。 ・道路防災点検結果に基づいた、緊急性の高い箇所の修繕を計画的に行っていく。	
課の考え方の次年度の担当	○ 維持・改善	
	拡大	
	縮小	・引き続き、道路施設の修繕を行うことで、道路の安全性を確保し、安心して快適な道路網を維持する。
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円) (A)	1,033,528	707,593	468,000	495,600	
	受益者1件当たり(円) (A/B)	11,282	7,781	5,199	5,505	
	受益者	全市民及び市道通過車両 (B)	91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	・老朽化等による損傷の著しい箇所の道路、側溝、舗装、橋りょう等の修繕 ・道路法改正により義務づけられた、橋りょう・トンネル点検業務	要求のポイント	事業実施の課題
------	--	---------	---------

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	468,000	495,600	27,600	483,000	483,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	22,000	137,500	115,500	43,500	43,500		
	県支出金			0				
	その他	6,000	6,000	0	6,000	6,000		
	一般財源	440,000	352,100	△ 87,900	433,500	433,500		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	72210	道路清掃事業費	会計	1 一般会計	基本分野	5 基盤・安全	根拠計画		市長公約
			款	7 土木費	個別分野	2 道路	実施計画事業	道路清掃事業	
担当課		基盤整備部 維持課	項	2 道路橋りょう費	施策の概要	4 生活に身近な道路の環境の向上	H29実施計画額	6,000 千円	
		内線	目	2 道路橋りょう維持費					
		2322							

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか(意図)	・道路清掃や草刈りを行うことによって、道路環境の保安や景観向上及び安全の確保が図れている。 ・集落間を結ぶ市道の除草等により、市民及び観光客等の通行の安全確保が図れている。	概要	事業の実施手法(手段)	・道路上の粉塵、ごみの除去及び草刈り、側溝の清掃を実施する。
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績	・道路清掃、草刈り等の実施										
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
		道路清掃延長		km	目標値	17	17	17	17	17	17
		実績値			17	-	-	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	100	-	-	-	-	-
		道路草刈り等延長		km	目標値	49	49	49	49	49	49
		実績値			49	-	-	-	-	-	-
	算出根拠等			達成率(%)	100	-	-	-	-	-	
				目標値							
				実績値							
	算出根拠等			達成率(%)							
				目標値							
				実績値							
算出根拠等			達成率(%)								

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・道路の安全確保や維持管理、景観保全のために継続して実施している。 ・安全な通行を確保するため、道路の環境整備に努めている。	
次年度の担当課の考え方	○ 維持・改善	
	拡大	・道路の安全確保や維持管理、景観保全のために継続して実施する。
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A) 5,410	5,645	6,000	7,433	
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 59	62	67	83	
	受益者	道路交通網の利用者 (B)	91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	・道路粉塵清掃、草刈り、側溝清掃	要求のポイント	事業実施の課題	・高齢化や過疎化により、これまで地域で行われてきた草刈りや清掃作業が困難となり、延長が増加する恐れがある。
------	------------------	---------	---------	---

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	6,000	7,433	1,433	6,000	6,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	6,000	7,433	1,433	6,000	6,000		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	72400	交通安全対策事業費		会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	根拠計画	市長公約	
			予算	款	7	土木費		個別分野	8	安全			実施計画事業
担当課	基盤整備部 維持課		内線	項	2	道路橋りょう費		施策の概要	1	交通事故の防止	H29実施計画額		36,700 千円
			2322	目	4	交通安全対策費							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか(意図)	・交通事故の危険性がある箇所に交通安全施設を設置し、適正な維持管理を行って、安全性の向上並びに事故防止が図られている。	概要	事業の実施手法(手段)	・道路反射鏡・ガードレール・道路照明・道路区画線等の新設や修繕を行う。 ・交通安全施設等の適正な維持管理を行う。
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガードレール・防護柵設置、修繕 L= 2,477.7m(うち、新設 466.7m)</li> <li>・道路反射鏡設置、修繕 N= 44基(うち、新設 19基)</li> <li>・区画線設置、修繕 L= 32,520.7m(うち、新設 26.0m)</li> <li>・道路照明灯設置、修繕 N= 82基(うち、新設 16基)</li> </ul>								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		ガードレール・防護柵設置		m	目標値	678	800	600	600	600
					実績値	467	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	69	-	-	-	-
		道路反射鏡設置		基	目標値	55	41	25	25	25
					実績値	19	-	-	-	-
	算出根拠等			達成率(%)	35	-	-	-	-	
	道路照明灯のLED化		基	目標値	25	33	30	30	30	
				実績値	82	-	-	-	-	
	算出根拠等			達成率(%)	328	-	-	-	-	
	成果指標			目標値						
				実績値						
算出根拠等			達成率(%)							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最大限の効果を発揮する交通安全施設の選定を行う。</li> <li>・維持管理に配慮して施設選定を行う。</li> <li>・維持管理や環境に配慮した資材や工法の選定により、維持管理経費の抑制を図る。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路照明の省電力化のため照明灯のLED化を実施し、ランニングコストの縮減を図っている。</li> <li>・道路照明として必要な照明灯以外は、町内会等へ所管替えを行う。</li> </ul>	
課の考えの担当	○ 維持・改善	
	拡大	・交通安全施設や道路照明の設置については、インシャルコストのみならず、ランニングコストや環境にも配慮した資材・工法の検討を行なって事業を推進する。
	縮小	・引き続き、交通安全施設の適正な管理及び管理経費の節減に努める。
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	32,927	54,947	36,646	58,823	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	359	604	407	653	
	受益者	道路交通網の利用者	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止のため、ガードレール、道路反射鏡等の交通安全施設を設置する。</li> <li>・交通安全施設(交差点照明、点滅灯、地下道照明)等の維持管理</li> </ul>	要求のポイント	・道路照明の省電力化のため照明灯のLED化を実施し、ランニングコストの縮減を図る。	事業実施の課題	・ランニングコストや環境にも配慮した資材、工法の検討が必要である。 ・交通安全対策の効果を高めるため、関係する他部局(警察、市民活動推進課、教育委員会、各道路管理者等)との連携を図り、高齢者や通学児童等への安全指導を行うなどソフト面での対策が必要である。
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	36,646	58,823	22,177	36,646	36,646	・実施計画どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金		16,500	16,500				
	県支出金			0				
	その他	3,641		△ 3,641				
	一般財源	33,005	42,323	9,318	36,646	36,646		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	72410	バリアフリー対策事業費	会計	1	一般会計	基本分野	5	基盤・安全	根拠計画	バリアフリー(歩車共存型道路、段差解消)整備	市長公約
			款	7	土木費	個別分野	2	道路	実施計画事業	バリアフリー対策事業	
担当課		基盤整備部 維持課	項	2	道路橋りょう費	施策の概要	4	生活に身近な道路の環境の向上	H29実施計画額	119,000 千円	
		内線	目	4	交通安全対策費						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか(意図)	・歩行者が安全で快適に利用できる環境づくりに向け、ユニバーサルデザインの観点から道路施設のバリアフリー化を推進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・既設側溝改修・蓋設置、歩道段差解消、グレーチング蓋の細目化 ・歩車共存型道路の整備
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		・歩車共存型道路整備(歩行空間整備) L=445m								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		歩車共存型道路整備(歩行空間整備)延長(累計)		m	目標値	3,600	4,200	4,800	5,400	6,000
					実績値	3,363	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	93	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
		算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・維持管理や環境に配慮した工法や資材の検討を行い、コスト縮減等に引き続き取り組む。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・維持管理や環境に配慮した工法や資材の選定を行い、更なるコスト縮減等に努める。
次年度の担当課の考え方	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善
	<input type="radio"/> 拡大
	<input type="radio"/> 縮小
	<input type="radio"/> 廃止検討

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除く)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	98,524	111,380	90,000	87,000	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,076	1,225	1,000	966	
	受益者	道路交通網の利用者	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・道路施設バリアフリー化整備(歩行空間の確保)	要求のポイント	事業実施の課題	・工法や資材の比較検討によるコストの縮減が必要である。
------	-------------------------	---------	---------	-----------------------------

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	90,000	87,000	△ 3,000	87,000	87,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	38,500	47,850	9,350	41,850	41,850		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	51,500	39,150	△ 12,350	45,150	45,150		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	72420	臨時駐車場対策事業費		会計	1 一般会計	総合計画	基本分野	5 基盤・安全	根拠計画	市長公約
			款	7 土木費	個別分野		2 道路			
担当課	基盤整備部 維持課		項	2 道路橋りょう費	施策の概要		5 道路利用の快適性向上	実施計画事業	臨時駐車場対策事業	
	内線	2322	目	4 交通安全対策費				H29実施計画額	19,700 千円	

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか(意図)	・高山祭や大型連休、お盆期間中など駐車場が満車となり、交通渋滞が発生するおそれがある場合、臨時駐車場の開設等により、市内の渋滞緩和が図られ、観光客の利便性が向上している。	概要	事業の実施手法(手段)	・臨時駐車場の開設、交通誘導員の配置、案内看板の設置、駐車場から観光客を運ぶシャトルバスの運行
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・春・秋の高山祭、ゴールデンウィーク、お盆に、交通渋滞対策本部を設置した。</li> <li>・臨時駐車場は秋の高山祭、ゴールデンウィーク、シルバーウィーク期間中に開設したが、春の高山祭は雨天のため開設せず、お盆は開設までの混雑に至らなかった。</li> </ul>								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		臨時駐車場開設		箇所	目標値	11	11	11	11	11
		算出根拠等			実績値	7	-	-	-	-
					達成率(%)	64	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
		算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時駐車場開設場所や交通誘導員の配置箇所等の検討</li> <li>・シャトルバスの効果的・効率的な運行によるコスト削減</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市中心部への大型バスの進入について、駐車場案内システムの利用や細やかな連絡体制の確立により収容能力を越えない台数で制御して、渋滞発生を抑制している。</li> <li>・高山インターからの交通量増加に適應した駐車場案内看板の設置や、FM放送等によるリアルタイムでの情報発信を行うことにより、効率的な運営を行っている。</li> </ul>	
課の考え 次年度の担当	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	
	<input type="radio"/> 拡大	・これまでに蓄積されたデータや駐車場案内システム、FM放送、インターネットを活用して、効率的な臨時駐車場開設業務を継続して実施する。
	<input type="radio"/> 縮小	
	<input type="radio"/> 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	16,155	17,453	19,670	21,868	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	176	192	218	243	
	受益者	道路交通網の利用者	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時駐車場の開設(春・秋の高山祭、ゴールデンウィーク、お盆)</li> <li>・交通誘導業務委託(市営駐車場、主要交差点等)</li> </ul>	要求のポイント	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時駐車場を設置し確保する適当な台数規模について、国内外の観光客の動向や曜日による増減などがあり判断が難しいため、観光部局の協力を得ながら検討する必要がある。</li> </ul>
------	--	---------	---------	--

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	19,670	21,868	2,198	18,670	18,670	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	19,670	21,868	2,198	18,670	18,670		



# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	72500	除雪対策事業費		会計	1 一般会計	総合計画	基本分野	5 基盤・安全	根拠計画	除雪計画、消融雪側溝整備5ヶ年計画	市長公約
			款	7 土木費	個別分野		2 道路				
担当課	基盤整備部 維持課		項	2 道路橋りょう費	施策の概要		6 官民協働による除雪の推進		実施計画事業	除雪対策事業	
	内線		目	5 除雪対策費				H29実施計画額	608,200 千円		
	2322										

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが安心、安全な暮らしを守るため、冬期間の道路除雪及び除雪補完作業による交通確保を行う。</li> <li>高齢者や女性でも無理なく安全に利用でき、地域住民が協働で雪まじに取り組める環境の整備を図る。</li> <li>除雪計画の周知を図り、除雪に対する市民の協力等が得られるようにする。</li> </ul>	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託業務による除雪作業の実施</li> <li>凍結による事故防止のための薬剤購入</li> <li>消融雪側溝の整備</li> <li>消融雪側溝を町内会に配布</li> </ul>
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>除雪延長 車道 939km、歩道 70km 合計 1,009km</li> <li>除雪車購入(小型ドーザー) 2台</li> <li>消融雪側溝整備 L=302m</li> </ul>									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		除雪延長		km	目標値	1,009	1,009	1,009	1,009	1,009
		算出根拠等			実績値	1,009	-	-	-	-
		達成率(%)			100	-	-	-	-	-
		消融雪側溝整備延長(累計)		m	目標値	3,200	3,600	4,000	4,400	4,800
		算出根拠等			実績値	3,033	-	-	-	-
	達成率(%)			95	-	-	-	-	-	
	除雪計画書配布部数		部	目標値	400	400	400	400	400	
	算出根拠等			実績値	400	-	-	-	-	
	達成率(%)			100	-	-	-	-	-	
	算出根拠等			目標値						
	達成率(%)			実績値						

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の除雪方法を、冬期を迎える前より早期に市民に周知する。</li> <li>除雪業者の確保や除雪路線を検討し、効果的な除雪を実施する。</li> <li>消融雪側溝整備は比較的高額となる。そのため、既設水路が利用可能な場所は、簡易融雪側溝とすることでコストの縮減を図る。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会を通じて、除雪基準や方法等を周知する。</li> <li>協働のまちづくりの枠組みの中において、今後地域で行う除雪の方法等について検討している。</li> <li>既設水路が利用可能な箇所は消融雪側溝メーカーの部品を利用した簡易融雪側溝とすることでコスト縮減を図っている。</li> </ul>	
課の年度ごの担当	○ 維持・改善	
	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬期における市民生活の安全確保並びに雪まじの負担軽減のため、除雪事業を引き続き実施する。</li> <li>除雪計画の周知徹底、除雪に対する市民の協力等呼び掛けるためにも継続して実施する。</li> </ul>
	縮小	<ul style="list-style-type: none"> <li>消融雪側溝について、工法や資材の比較検討によるコスト縮減に引き続き取り組む。</li> </ul>
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	1,086,967	379,338	566,200	739,941	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	11,866	4,171	6,289	8,219	
	受益者	道路交通網の利用者	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路及び歩道の除雪委託</li> <li>除雪計画書の作成等</li> <li>消融雪側溝の整備</li> <li>市所有除雪機の更新</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>消融雪側溝の効果やコスト縮減に配慮した資材選定</li> <li>除雪業者の負担軽減のための支援策等の見直し</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>除雪業者の確保や除雪路線を検討し効果的な除雪を実施する。</li> <li>工法や資材の比較検討によるコスト縮減に取り組む。</li> <li>老朽化による経年劣化が著しい除雪機械の維持更新が必要である。</li> </ul>
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	566,200	739,941	173,741	697,200	697,200	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> <li>道路除雪体制の維持・強化に要する経費を計上</li> </ul>	財務部査定のとおり
	国庫支出金	60,000	94,800	34,800	88,300	88,300		
	県支出金	3,000	4,000	1,000	3,000	3,000		
	その他	6,000		△ 6,000	14,000	14,000		
	一般財源	497,200	641,141	143,941	591,900	591,900		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	73100	河川清掃事業費	会計	1 一般会計	基本分野	2 環境・景観	根拠計画		市長公約
			款	7 土木費	個別分野	2 生活環境	実施計画事業	河川清掃事業	
担当課	基盤整備部 維持課	内線	項	3 河川費	施策の概要	3 公害対策の強化	H29実施計画額	23,800 千円	
		2322	目	1 河川維持費					

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・河川堤防の除草を実施して、河川環境が保全されている。 ・河川内のごみ等の清掃や雨水排水暗渠等の土砂清掃を行い、排水機能を確保して水環境が保全されている。 ・市街地周辺の河川清掃を行うことにより、市民のみならず観光客にも良好な河川環境が提供され、高山市のイメージ向上が図られている。	概要	事業の実施手法(手段)	・1級河川の堤防除草作業を地元町内会等に委託する。 ・河川内のごみ収集運搬、暗渠の土砂清掃を専門業者に委託する。 ・河川を美しくする会に委託して、市街地河川の清掃作業を実施する。 ・水門管理者による適正な水門管理を実施する。
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川堤防除草実施面積 338,000㎡</li> <li>河川清掃時に発生するごみの収集</li> <li>暗渠排水の通水機能確保</li> <li>水門管理者による水門管理の実施</li> </ul>										
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
		河川堤防除草実施面積		㎡	目標値	338,000	338,000	338,000	338,000	338,000	338,000
		算出根拠等			実績値	338,000	-	-	-	-	-
		達成率(%)			100	-	-	-	-	-	-
		ごみ収集回数(除草収集)		回	目標値	4	4	4	4	4	4
		算出根拠等			実績値	4	-	-	-	-	-
	成果指標	達成率(%)			100	-	-	-	-	-	
		河川清掃回数		回	目標値	4	4	4	4	4	
		算出根拠等			実績値	4	-	-	-	-	
		達成率(%)			100	-	-	-	-	-	
		目標値									
		実績値									

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客の多い市街地周辺の河川の環境保全と、高山市のイメージアップを図るために、地元団体と協働し継続して実施している。</li> <li>河川等の自然環境を保全し、側溝や水路の機能を確保するために継続して実施している。</li> </ul>	
課の考えの担当	○ 維持・改善	
	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客の多い市街地周辺の河川の環境保全と、高山市のイメージアップを図るために継続して実施する。</li> <li>河川等の自然環境を保全し、側溝や水路の機能を確保するために継続して実施する。</li> </ul>
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A) 23,747	24,206	24,440	25,524	
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 259	266	271	284	
	受益者	全市民 (B)	91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>一級河川の堤防除草</li> <li>河川周辺のごみや草刈等の収集運搬</li> <li>用排水路の土砂撤去</li> <li>市街地河川清掃の地域住民で構成される河川を美しくする会への委託</li> <li>市街地河川の川底清掃の専門業者への委託</li> <li>水門管理者に対する謝礼</li> </ul>	要求のポイント	事業実施の課題
------	---	---------	---------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	24,440	25,524	1,084	25,500	25,500	積算内容を精査	財務部査定のとおり
国庫支出金			0				
県支出金	18,100	19,200	1,100	19,200	19,200		
その他	6,340	6,324	△16	6,300	6,300		
一般財源			0				

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	73120	普通河川整備事業費	会計	1	一般会計	基本分野	5	基盤・安全	根拠計画		市長公約
			款	7	土木費	個別分野	7	防災	実施計画事業	普通河川整備事業	
担当課		基盤整備部 維持課	項	3	河川費	施策の概要	3	自然災害防止施設の充実	H29実施計画額	70,000 千円	
		内線	目	1	河川維持費						
		2326									

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・普通河川周囲の良好な生活環境の確保と、豪雨等による災害を防止するため、護岸や河床の整備を実施し、市民の安全と財産を守る。	概要	事業の実施手法(手段)	・雨水排水等による普通河川の溢水箇所の整備を行い、環境保全を図る。
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績	・河川整備工事 契約件数 N=60件										
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
		河川整備工事の契約件数		件	目標値						
		算出根拠等			実績値	60	-	-	-	-	-
					達成率(%)		-	-	-	-	-
					目標値						
					実績値		-	-	-	-	-
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-	
					目標値						
					実績値		-	-	-	-	
					達成率(%)		-	-	-	-	
					目標値						
					実績値		-	-	-	-	

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・老朽化、断面不足等の普通河川を計画的に整備を進める必要がある。
-----------------	----------------------------------

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・対象箇所の緊急性に基づき、計画的に整備を行っている。	
次年度の担当課の考え方	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	
	<input type="radio"/> 拡大	・引き続き、普通河川の整備を実施する。
	<input type="radio"/> 縮小	
	<input type="radio"/> 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出 (千円)	(A)	82,197	158,594	70,000	173,000	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	897	1,744	778	1,922	
	受益者	全市民	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	・普通河川の老朽化や断面不足に伴う整備 ・普通河川の護岸や河床等の整備を実施して、河川周辺の生活環境の保全と豪雨等による災害の防止工事	要求のポイント	・国からの委託による中部縦貫自動車道4工区建設に伴う河川整備(補助率10/10)	事業実施の課題
------	--	---------	--	---------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	70,000	173,000	103,000	173,000	173,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金		103,000	103,000	103,000	103,000		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	70,000	70,000	0	70,000	70,000		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	74800	駐車場管理事業費		会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	根拠計画	駐車場整備計画	市長公約
			予算	款	7	土木費		個別分野	2	道路	実施計画事業	駐車場管理事業	
担当課	基盤整備部 維持課		内線	項	4	都市計画費		施策の概要	5	道路利用の快適性向上	H29実施計画額	91,400 千円	
		2322	目	8	駐車場管理費								

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民及び観光客	どうしたいのか(意図)	・市営駐車場を適正に維持管理して、駐車場利用者の利便性を向上させ、市内の渋滞緩和を図られている。	概要	事業の実施手法(手段)	・指定管理者による駐車場の運営 ・計画的な機器類の改修・更新工事の実施
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理による駐車場の運営</li> <li>市営かじ橋駐車場/バスタワー改修工事</li> <li>市営えび坂駐車場他施設修繕工事</li> </ul>								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		駐車場管理運営箇所数		箇所	目標値	9	9	9	9	9
		算出根拠等			実績値	9	-	-	-	-
					達成率(%)	100	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
		算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・市街地の交通渋滞緩和、観光客の利便性向上のために継続して駐車場管理業務を実施している。 ・駐車場整備計画や交通規制の検討とあわせて、今後の市営駐車場のあり方や方向性について検討する。	
次年度の考え方	○ 維持・改善	・市街地の交通渋滞緩和、観光客の利便性向上のために継続して駐車場管理業務を実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A) 21,023	24,193	39,136	99,120	
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 229	266	435	1,101	
	受益者	全市民及び観光客 (B)	91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	・市営駐車場(9箇所)の適正な管理運営	要求のポイント	・更新期をむかえた市営駐車場の出入口ゲート及び監視盤の改修	事業実施の課題	・駐車場舗装の経年劣化が進んでおり、今後大規模な舗装修繕工事が必要となる。 ・バリアフリー化が進んでいない駐車場について、整備を検討する必要がある。
------	---------------------	---------	-------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	39,136	99,120	59,984	63,136	63,136	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	39,136	56,177	17,041	63,136	63,136		
	一般財源		42,943	42,943				